

2025年度
川崎市予算

市税収入は4年連続過去最大でも

市民にとって不公平な予算



財政力は政令市トップ

新年度一般会計予算の規模は、前年度比 215 億円増の 8927 億円で過去最大。市税収入も前年度比 194 億円増の 4048 億円で 4 年連続、過去最大です。これは個人市民税が 163 億円増、固定資産税 23 億円増などによるものです。

財政力指数は、政令市トップで、新年度は普通交付税・不交付団体となる見込みです。川崎市の生産年齢人口割合は政令市で最も高く、人口推計でも今後 5 年間は人口が増加し続けるため市税収入の増加は今後 5 年間続くと予想されます。

休日急患診療所がなくなる?!

市は、「地域ごとの資産保有の最適化」と称してモデル地区を設定し、老朽化して利用率が低い施設同士を集約・統廃合していくという計画を発表しました。対象となる施設として、休日急患診療所、こども文化センター、老人いこいの家などが含まれています。

本市の人口はさらに増え続け、今より減少するのは 30 年後のことです。現在、平均倍率が 10 倍以上の市営住宅、待機者が 2000 人以上の特養ホームなどは、さらに不足し自治体としての責務をはたせません。当面の人口増加に対応できる施設を作るべきです。



公共施設の統廃合が検討されている施設

- 休日急患診療所
- 老人いこいの家
- こども文化センター
- スポーツセンター
- 子育て支援センター
- 身体障害者福祉会館
- 市民館
- 図書館 など

臨海部の水素戦略は破綻寸前?!

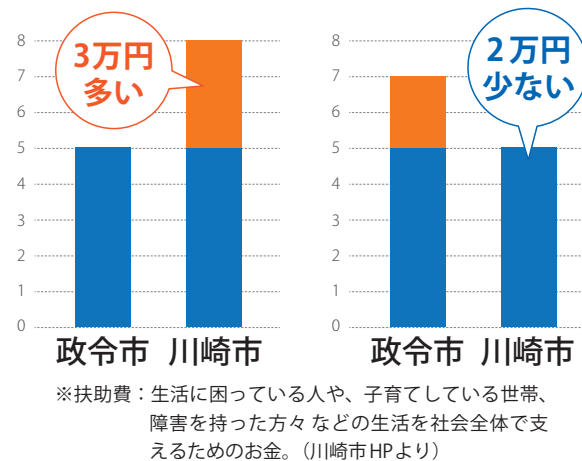
臨海部の水素戦略関連予算は、扇島地区への一般道路・高速道路アクセス整備に 5 億円、岸壁・港湾道路等港湾施設の基盤整備に 1.9 億円など計 6.9 億円が計上されています。事業者の当初の計画ではオーストラリアで水素を作り、液化水素にして、船で扇島まで運び、JFE 跡地の水素拠点で 2030 年度から商用化するとされていました。

しかし、政府は昨年 9 月、「オーストラリアからの水素調達は難しくなった」として国内からの水素調達に切替えることを発表しました。世界的には、水素の混焼発電は、化石燃料による発電の延命措置だと多くの批判を浴びています。臨海部の JFE 跡地利用は水素戦略ではなく、太陽光中心の再エネ・省エネ企業を誘致し、生産・供給拠点にすれば、日本初の大都市での再エネ自給自足のモデル都市にすることができると提案しました。



扇島地区土地利用概成時のイメージ (R5.8.31 策定 土地利用方針より)

社会保障費は政令市平均以下

個人市民税
政令市トップ福祉予算
(民生費)

川崎市の、一人当たりの扶助費の額は引き続き政令市の平均を下回っており、福祉予算である民生費も 1 人当たりになると政令市平均よりも約 2 万円低い状況です。

一方、一人当たりの個人市民税は、政令市平均より約 3 万円高く、政令市トップです。市民税は政令市で最も高く、その税収が福祉・暮らしには十分還元されない「市民にとって不公平」な予算です。

2025 年度の給食費値上げ分は公費負担が実現



来年度の給食費引上げ分は全市でおよそ 9 億円となりますが、国の交付金と市費を半額ずつあて、予算を確保したとのこと。食材費高騰の中、学校給食の質を維持するために引き上げとなった学校給食費ですが、保護者負担は据え置きとなりました。市民から「給食無償化を求める」請願も提出され、継続審査となりました。市は無償化は国が行うべきものとの立場ですが、東京都の 23 区と全市町村では今年 1 月から給食無償化が実現。川崎市でも給食の無償化を引き続き求めていきます。

教員不足の解消を最優先に

2 月 1 日現在、教員の未充足は 205.5 名となり、昨年同月の 142.5 名を大きく上回って過去最多となりました。今年度教員確保の取り組みの一つとして市議団が求めてきた奨学金返還支援制度が実現しました。これは、奨学金の返還を最大 200 万円まで市が支援するものですが、教員採用試験の成績上位者 40 名のみにしか適用しないという実態は全く不十分です。対象者全てに支援を行い、教員の確保をすすめるべきと求めました。

南武線のワンマン運転はやめるべき

JR 久地駅の踏切はピーク時の遮断時間が 1 時間のうち 40 分以上の開かずの危険な踏切で、橋上駅舎化を求める 5 千筆もの署名が川崎市に届けられています。その一方で、南武線のワンマン運転が始まりました。「川崎市は乗客である市民の安全を守る責任があり、JR に南武線のワンマン運転は行うべきではないと言うべき」と市に求めましたが、「JR の責任で適切に実施するもの」との答弁でした。今後もワンマン運転の中止を JR に申し入れるよう市に求めていきます。

